

令和6年度 地方創生関係交付金事業

地方創生関係交付金の種類		事業目的・概要								
地方創生拠点整備交付金		<p>若狭町の代表産業である観光は、1990年代をピークに入込客数が減少している。この要因として、観光ニーズの多様化と旅行スタイルの変化に合った取り組みや整備がこれまでできおらず、官民協働や広域連携による地域資源の利活用が十分なされていなかった。</p> <p>本事業は、若狭町・美浜町・(株)レインボーラインが連携し、レインボーラインが四方に三方五湖と若狭湾、大規模なリアス海岸が眺められる類い稀な立地特性を持ち、恋人の聖地として愛を繋いできた場所、また若狭地域は古代から御食国(みけつくに)として交易の拠点として栄えた歴史を踏まえ、地域内外の子どもからお年寄りまで多くの人々が集う観光交流拠点として、また、三方五湖エリアの魅力を発信する拠点として、さらに観光まちづくりのきっかけとなるよう、「自然と人と地域を繋ぐ」をコンセプトに整備する。</p>								
地域再生計画名										
かがやきのその先に「神秘の湖」広がるレインボーライン整備計画～自然・人・文化をつなぐ天空の架け橋～										
No.	交付金対象事業名称									
1	かがやきのその先に「神秘の湖」広がるレインボーライン整備計画～自然・人・文化をつなぐ天空の架け橋～									
実施事業名		総事業費	交付金対象費	財源内訳			実施内容			
				交付金	その他	一般財源				
1	かがやきのその先に「神秘の湖」広がるレインボーライン整備事業 (R3事業)	252,648,354	245,907,254	122,417,246		130,231,108	<p>急激に増加している観光客数への対応や、より多くの地域特産品を取り扱うために、売店トイレ棟 (65㎡) を撤去し、108㎡に拡大させた施設を新築する。</p> <p>また、増加する観光客対応、特に観光バス客の昼食場所として提供を可能とするため、三方五湖が見渡せる場所にレストラン棟を新築することで、混雑緩和やニーズに応えることで顧客満足度の向上や滞在時間延長による消費単価の増加に繋げる。</p>			
重要業績評価指標 (KPI)		単位	事業開始前	KPI	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終値
1	新築するレストラン及び売店の売上	千円	51,044	目標値	0	78,500	89,300	97,300	105,300	105,300
				実績値	0	88,073	117,857	125,594		117,857
2	新築する売店で地元産品の取り扱い商品数	商品	655	目標値	0	905	1,105	1,305	1,505	1,505
				実績値	0	629	659	701		659
3	レインボーラインの入込数	人	375,461	目標値	0	517,100	543,100	563,000	583,000	583,000
				実績値	0	394,208	445,350	474,610		445,350
事業効果		地方創生に非常に効果があった。								
今後の方針		リニューアル効果により、売り上げは好調をキープしている。また、相乗効果により、近隣の宿泊施設や飲食店等にも一定の経済効果が上がっている。観光バス等により、多くの団体客が訪れているが、今後はファミリー層や少人数での旅行者を獲得していくための方針も検討していく。								
評価		入込数が目標値に届いていないにも関わらず、売上が目標を上回っているのは、山頂公園の整備とリニューアルの効果である。若者向けの抜本的な取り組みや、マスコミやSNSでの発信効果による知名度アップの成果もあり、入込数も目標には届かないものの事業開始前よりは大幅に伸びている。近隣の観光施設とセットにした呼び込みやインバウンド対応など、今後も更に発展できるような新しい取り組みに期待する。								